

来賓挨拶 1

国土交通省 都市局 局長 栗田 卓也氏

ご紹介いただきました、国土交通省で都市局長をしております栗田でございます。本日の全国エリアマネジメントネットワーク設立シンポジウムの開催に当たり、一言ごあいさつ申し上げたいと思います。

本日は全国エリアマネジメントネットワークが設立されました。心から皆様と一緒に喜び申し上げたいと思います。これまでこの設立にご尽力されました、小林先生をはじめ、多くの方々のご努力によって今日を迎えられたということだと思えます。これまでのご努力に心から敬意を表したいと考えているところでございます。

日本でエリアマネジメントがいろいろと言葉として使われ出し、国土交通省で仕事をしている中でも使われ出してからもう 10 年、15 年を数えているかと思えます。それをいろいろなところで取り入れられて、仕事の中にも反映される仕組みを作ってきていただいております。

そして、ストックであるとかマネジメントであるとか、このような言葉を政策の中でますます使うようになってきております。「作るまちづくり」から「育てるまちづくり」という平たく言うとそういうことなのでしょうけれど、都市の問題の解決や地方の創生を進めていくときに、官民の垣根にとらわれずに取り組んでいくということが、一つのコンセプトの中核的なことであるのかなと思っております。

もちろん、エリアマネジメントの考え方はこれまでも発展してきてきましたし、これからますます発展し、現場でこなれていくと思っておりますけれども、その過程で今日のネットワークの設立は本当にタイミングのいいお話であると改めて感じております。

私の個人的なことを申し上げますと、政策の中でこういう手法が今後もっと伸びるべきであるという思いを持って 10 年近く取り組んでおります。そういう意味で、ことのほか個人的にも嬉しい思いでいっぱいでございます。

特に各地域でまちづくりに取り組んでいらっしゃるみなさんの力でこのネットワークの設立に至ったというそのことが、コンセプトそのものを映しており、またことのほか有意義であると考えております。

このネットワークには大都市から地方都市まで多くの団体・あるいは企業・個人の方々のご参加になっていらっしゃると思っております。これまで積み上げられてきました創意工夫をさらに生かして横の連携を図ることで、エリアマネジメントに関するノウハウ・人材・経験等の情報交換、あるいは人材交流等が進んで活動がますます活性化することを期待しております。

私は今ご挨拶申し上げている中で、「官民」や「民間」などといった言葉をいくつか使っておりますが、そのような 2 つの官や民という考え方の立て方自身も本当はもう少しコ

ンセプト整理がいると思っております。

官と民という二分論ではなくて、企業と政府という二分論ではなくて、土地の持ち方で言えば私有と公有という二分論ではなくて、本当はその間のサードウェーブ、土地の持ち方でいえば共有であり、「共」の概念のようなコンセプトがますます都市政策の中でも発展していくべき部分であると思っております。

エリアマネジメントの考え方も、その二元論の間の部分を支える一つのコンセプトとしてもっともっと伸びていくものであると思っております。

都市局の最近の仕事を一・二報告させていただいてご挨拶にかえたいと思います。まず、都市再生特別措置法というこの10年、都市計画法と一緒に都市行政を作っている法律がございまして、先の国会で都市再生特別措置法の一部を改正する法律案を提出させていただいております、おかげさまで成立させていただきました。

その法律の中では、空地や空き店舗を有効に使うための措置として協定整備、あるいは公園の占用の許可をもう少し柔軟にするというような話を盛り込ませていただきました。この法律が成立いたしましたのが6月1日でございます。6月1日というのは先の通常国会の最終日でございます、最終日に参議院で可決頂いて成立させて頂いたということで本当に滑り込みでございます。

その間多くのご関係の方にはご心配もおかけいたしました、叱責のお声もいただきました。9月には施行させていただきたいと思っております。エリアマネジメントの現場でもご活用いただけるものがあると思っておりますので、ぜひご活用させていただきたいと思っております。

この後のシンポジウムでも都市の空間資源のお話をさせていただけると思っています。我々の所管しているものであると、公園が代表的なものですが、都市の空間資源をどう使っていくかのコンセプト整備を行いたいと思っております、国土交通省の中で有識者の皆様からいろいろなご提案をぜひ頂戴したいと思っております。

これもできるだけ早く制度化していきたいと考えておりますので、またぜひご支援頂戴できればと思っております。都市機能を支えるストックが適切かつ効率的に維持管理・運営され、公共施設と民有施設が一体となって都市の魅力を高めていくという未来を現実にしていくためには、いろいろな担い手の皆様によりますエリアマネジメント活動が広まっていくということが大変大事なことであり欠かせないことだと思っております。

国土交通省としても引き続き必要となる制度の充実やエリアマネジメントの発展のために必要なことを積極的に取り組んでいきたいと考えております。

終わりに全国エリアマネジメントネットワークと全国のエリアマネジメントの今後の発展、本日お集りの皆様のますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げまして私のごあいさつに代えさせていただきたいと思っております。皆様本当におめでとうございます。